



樹木用殺虫剤

# マツグリーン<sup>®</sup>液剤2

普通物で環境に優しい

## 樹木類のケムシカイガラムシばら、あじさいに拡大 になりました。

カイガラムシ + ケムシ類

マツカレハ + マツクイムシ

同時防除に

樹木専用殺虫剤  
(ネオニコチノイド系殺虫剤)

で初!

### 全ての庭木の害虫(ケムシ カイガラムシ マツクイムシ アブラムシなど)と松くい虫の防除に!!

ミツバチ・マルハナバチなど、有益昆虫にほとんど影響が無い!  
周辺作物・環境にもポジティブリストで安心・安全! いやな臭い・汚れがありません。

#### ■ マツグリーン液剤2を利用した主な害虫の年間防除体系

害虫写真	害虫名	加害樹木	発生時期	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11~2月
				上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬
	アブラムシ類	サクラ・ヤナギ・モミジなど多数	成虫・幼虫					幼虫・成虫				卵越冬
			生態・症状		新芽・新葉に群生			夏の間は発生が少なくなる				
	カイガラムシ類	マサキ オオムラサキ等 多数	成虫・幼虫					幼虫・成虫				成虫・幼虫・卵
			生態・症状					5月下旬から15日間隔で4回散布。7月以降は幼虫やすすの発生期たら定期的に散布する。		幼虫を見つけ次第、15日間隔で散布する。		
	グンバイムシ類	ツツジ類・プラタナス・シャクナゲ・アセビ・ネジキ・カジキ・アジサイ・コブシ	成虫・幼虫					幼虫・成虫				成虫越冬
			生態・症状					葉表に白いカスリ状の小斑点				
	ケムシ類 (チャドクガ)	ツバキ・サザンカ・チャ	成虫・幼虫			1回目の幼虫			2回目の幼虫			卵塊越冬
			生態・症状			葉裏に群生、葉は白く透ける			葉裏に卵塊			
	ケムシ類 (アメリカシロヒトリ)	サクラ・ハナミズキ・モミジ・フジ・ヤナギ・ケヤキ・トウカエデ等	成虫・幼虫			1回目の幼虫	2回目の幼虫	3回目の幼虫				卵塊越冬
			生態・症状			葉にくもの巣状、中で群生						
	ケムシ類 (イラガ)	サクラ・ヤナギ・サルスベリ・ベニカナメ等	成虫・幼虫			1~2回目の幼虫発生			2~3回目の幼虫発生			マコ越冬
			生態・症状			葉裏に集中発生し、葉皮を食害。触れると激痛が走る。						
	ケムシ類 (モンクロシャチホコ)	サクラ・クヌギ・ニレ等	成虫・幼虫						幼虫			マコ越冬
			生態・症状						葉に赤い毛虫が群生、食欲旺盛で木の下に糞			
	マツノマダラ カミキリ成虫 (松喰い虫)	クロマツ・アカマツ	成虫・幼虫				カミキリムシ成虫の飛来					幼虫越冬
			生態・症状				カミキリ成虫の食害跡からセンチュウがマツの中に侵入すると秋にマツが枯れる					
	キオビエダシャク	いぬまき	成虫・幼虫						幼虫・成虫			幼虫越冬
			生態・症状						葉を食い荒らす「幼虫」は4月~12月まで4回程度発生する			
	コガネムシ類	あじさい類	成虫・幼虫						成虫発生		幼虫により土壌被害	
			生態・症状						成虫発生のピークは7月下旬から8月中			

写真提供：大阪府植物防疫協会

↑ マツグリーン液剤2散布 ↑ 他剤での散布



株式会社 ニッソーグリーン

## ■ 上手な使い方

### ● 「マツノマダラカミキリ」の防除

松枯れの犯人はマツノザイセンチュウです。その運び屋が「マツノマダラカミキリ」です。センチュウが侵入した松は手の施し様がありません。従って運び屋である「マツノマダラカミキリ」を早い時期に防除する事が絶対に必要です（5月上旬～下旬より1ヵ月ごとに3回）。

### ● 「アメリカシロヒトリ」、「アブラムシ」等の防除

アメリカシロヒトリ、アブラムシ等の庭木の害虫は、発生初期の防除が重要です。見つけたときにすぐ散布してください。

### ● 「カイガラムシ」の防除

5月下旬から幼虫が発生するので見つけたら15日間隔で「カイガラムシ」に対して十分量散布してください。

## ● 希釈表

薬剤の希釈（水1ℓに対して）			
60倍	100倍	250倍	500倍
16mℓ (キャップ約2杯)	10mℓ (キャップ約1.2杯)	4mℓ (キャップ約半分)	2mℓ (キャップ約1/4杯)

## ■ 適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数
まつ(生立木)	マツカレハ	100~250倍	3ℓ/本(樹高10m)	幼虫発生前から幼虫発生期	5回以内	散布	5回以内 (樹幹注入は1回以内)
	マツノマダラカミキリ成虫	60~100倍		成虫発生直前から発生初期			
樹木類 (さくら、つつじ類、とちのき、プラタナス、さんごじゅ、ひいらぎもくせい、いぬまきを除く)	カイガラムシ類 ケムシ類	250倍	3~4ℓ/10a	成虫発生初期及び発生最盛期直前	5回以内	無人航空機による散布	5回以内 (樹幹注入は1回以内)
	アブラムシ類	500倍					
さくら	クビアカツヤカミキリ	200倍	200~700ℓ/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内 (樹幹注入は1回以内)
	カイガラムシ類 ケムシ類	250倍					
つつじ類	ツツジグンバイ アブラムシ類 チュウレンジハバチ	500倍	200~700ℓ/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内 (樹幹注入は1回以内)
	アブラムシ類	500倍					
とちのき	カイガラムシ類 ケムシ類 トチノキヒメコバヤ	250倍	200~700ℓ/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内 (樹幹注入は1回以内)
	アブラムシ類	500倍					
プラタナス	カイガラムシ類 ケムシ類 プラタナスグンバイ	250倍	200~700ℓ/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内 (樹幹注入は1回以内)
	サンゴジュハムシ アブラムシ類	500倍					
さんごじゅ	カイガラムシ類 ケムシ類	250倍	200~700ℓ/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内 (樹幹注入は1回以内)
	ヘリグロテントウノミハムシ アブラムシ類	500倍					
ひいらぎもくせい	カイガラムシ類 ケムシ類	250倍	200~700ℓ/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内 (樹幹注入は1回以内)
	キオビエダシヤク	100~250倍					
いぬまき	アブラムシ類	500倍	200~700ℓ/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内 (樹幹注入は1回以内)
	カイガラムシ類 ケムシ類	250倍					
ぼら	チュウレンジハバチ	500倍	100~300ℓ/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内 (樹幹注入は1回以内)
あじさい	コガネムシ類 アブラムシ類	500倍	200~700ℓ/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内 (樹幹注入は1回以内)
	カイガラムシ類 ケムシ類	250倍					

## ■ 上手な使い方

1. 本剤は無色透明のため、薬剤調製時には十分攪拌してご使用ください。
2. 蚕に対しては長期間毒性があるので、桑に付着するおそれがある地域では使用しないでください。
3. 本剤の10ℓ容器は金属缶のため、外から薬液が見えませんが、薬剤投入時は容器に薬剤が残らないよう注意してください。
4. 降雨前後の薬液散布は効力が劣るので、使用をさけてください。

### ⚠ 安全使用上の注意

1. 誤飲のないように注意してください。誤って飲み込んだ場合はうがいをし、直ちに医師の手当を受けさせてください。
2. 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに流水で水洗いし、眼科医の手当を受けてください。
3. 使用の際は農業用マスクなどを着用してください。作業後はうがいをするとともに洗眼してください。
4. 街路、公園等で使用する場合には、使用中及び使用後（少なくとも散布当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう網圍いや立て

5. 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。保管：密栓し、火気や直射日光を避け、食品と区別して、涼涼な所に保管してください。

100mℓ  
入り



- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

## ■ 販売元

**株式会社 ニッソーグリーン**

本社：〒110-0005 東京都台東区上野3-1-2  
 (秋葉原新高第一生命ビル5F)  
 TEL：03-5816-4351  
 URL：http://www.ns-green.com/